



特集《対談》
— 大学生の声を聞きました —

柏崎市議会だより

ギカイの



No.180 令和2(2020)年 5月5日

今回の表紙

新潟産業大学・新潟工科大学

学友会の皆さん

柏崎の魅力や市議会の印象などについて対談しました。
(場所：新潟産業大学 教室)

もくじ

■ 特集《対談 大学生》	P2・3
■ 新年度予算・代表質問	P4～6
■ 議案審議結果	P7
■ 常任委員会報告・賛否一覧	P8・9
■ 議会の動き	P10
■ 一般質問・行政視察報告	P11～15
■ 6月定例会議日程ほか	P16

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/>



特集

《対談 大学生》

△新潟産業大学・新潟工科大学学友会 大学生の声を聞きました▽

柏崎の人は優しいですね

柏崎にずっと住んでもいいかな



《大学で学んでいること、学びたいことは?》

今回は、市議会が市内にある2つの大学に伺い、学生と対談をしました。県外、県内、柏崎市出身の学生から、柏崎の魅力や市議会の印象などについてお話を伺いました。

《柏崎の好きなお店、良いところは?》

△市民が大勢集まって楽しめるイベントが多いところ。
△柏崎は、車があれば住むには程よいと思う。
△星がきれいで、自然が多くて好きです。
△ラーメンがおいしいところ。
△道が広くて分かりやすいところかな。車が運転しやすいです。
△柏崎の人は優しいですね。お店の人も優しいし、道を譲ってくれる人が多いです。

△地域の方や留学生と交流しながら、まちづくりについて学びたいです。
△柏崎の商店街のにぎわいを取り戻すため、建築について学びたいです。
△システム関係の仕事をしたいので、情報系のコースに進む予定です。
△数学や物理などの基礎を身に付け、建築について学びたいです。

△今、就職活動中ですが、柏崎の企業はとても熱量があると感じています。大学へたくさん来ていただいているし、大学の先輩も熱心に柏崎の企業の話をしてくれます。大学と柏崎の企業のつながりは強いと感じています。



新潟産業大学

Niigata Sangyo University



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学



経済学部 ■ 2年生
すぎた ゆきな
杉田有紀奈さん



学友会長
経済学部 ■ 3年生
たなべ はるか
田邊青海さん



経済学部 ■ 4年生
さいとう ちひろ
齊藤千紘さん



工学部 ■ 2年生
まつぞえりょうた
松添遼太さん



工学部 ■ 2年生
おおた がく
大田雅久さん



学友会長
工学部 ■ 3年生
みやけ はるか
三宅春香さん

《市議会や議員の印象は?》

- ▼ 私たちがこんなまちにしてほしいなと思っていることをかなえてくれる人かな。
- ▼ テレビで見掛けないから、よく分からないかな。SNSで情報発信したらどうかな。
- ▼ 議員さんはお堅いイメージがあったけど、今回の対談を通じて親しみやすい方々だと思いました。
- ▼ 今回、柏崎についていろんな意見交換ができたので、もっと市議会議員の皆さんと気軽にお話できる機会があったらいいな。
- ▼ 《柏崎はどんなまちになってほしい?》
- ▼ 夏にイベントが集中しているので、冬にもイベントがあったらいいな。
- ▼ 車がないと生活するにはとても不便。公共交通が充実してほしいです。
- ▼ 線路でまちが分断されていて、海側に行きにくい。用事がないと行かないかも。もっと行きやすければ、まちなかにも若者が行くと思う。
- ▼ 住んでいて困ることがないから、このままでもいいかな。柏崎にずっと住んでもいいかな。

税金の使い道が決まりました

～ 令和2(2020)年度予算案を全て可決～

令和2(2020)年度予算は、各分野における人材の育成・確保対策、産業振興に資する事業に重点的に配分され、限られた財源の効果的な予算配分が行われました。予算の概要は次のとおりです。

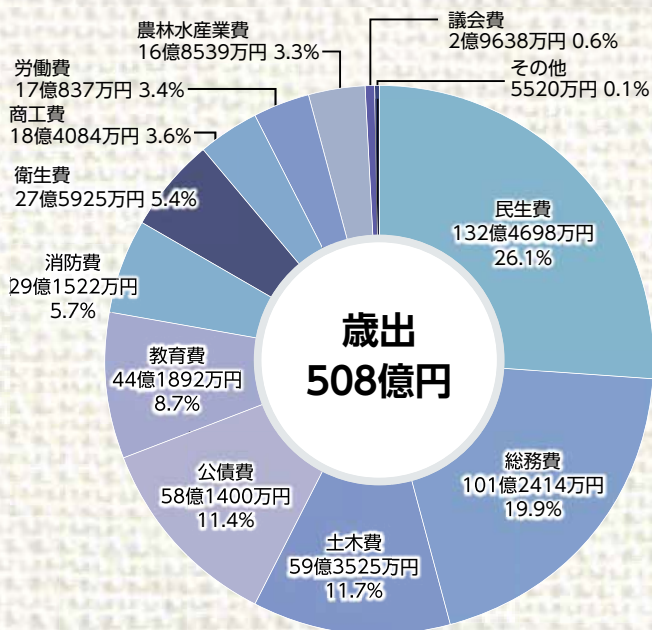
● 合計当初予算額

857億2142万円

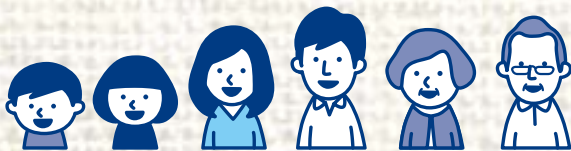
内
訳

- 一般会計予算 508億円
- 特別会計予算 198億4018万円
- 公営企業会計予算 150億8123万円

一般会計歳出(目的別)



※千円以下切り捨てのため、合計額が合わないことがあります。



区 分		令和2(2020)年度	令和元(2019)年度	対前年度比
一般会計		508億円	476億円	6.7% ↑
特別会計	国民健康保険事業	92億2450万円	91億5101万円	0.8% ↑
	後期高齢者医療	10億1669万円	9億4503万円	7.6% ↑
	介護保険	92億8332万円	93億8900万円	1.1% ↓
	土地取得事業	2億9754万円	3億804万円	3.4% ↓
	墓園事業	1811万円	2932万円	38.2% ↓
公営企業会計	水道事業	57億1188万円	59億670万円	3.3% ↓
	工業用水道事業	1347万円	1351万円	0.3% ↓
	下水道事業	93億5587万円	93億840万円	0.5% ↑

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

柏崎の風

賛成

次について意見を述べたい。
①株式会社パブリックサービスの設立で行政の最小化・最強化を目指し、かつ、新庁舎移転後の行政サービスや事業の取り組みに対して注目が集まるので、その期待に応えられるよう取り組んでほしい。



上森 茜議員

②子育て中の保護者の育児不安、経済的負担の軽減を目的とした子育て応援券事業の導入に向け研究されることを期待する。
③道路除排雪など緊急の課題である人材育成・確保に対し重点的に予算配分され、柏崎の基盤である「ものづくり産業」に対しても適正に予算配分されており評価する。

日本共産党柏崎市議員団

反対

予算編成の土台をなす政治姿勢を含め「矛盾・弱点・後退」というキーワードを挙げ、反対する。



持田繁義議員

「矛盾」として、原発への対応を挙げる。使用済み核燃料を原発再稼働の条件とすることは問題である。

「弱点」として、人権啓発・男女共同参画事業を挙げる。これを推進するために、特化した機構と人材を配置すべきである。

「後退」として、核兵器廃絶平和推進事業を挙げる。中学生の派遣を取りやめ、講話で済ますことは、平和事業としては後退と言わざるを得ない。

柏崎のみらい

賛成

総合計画策定について意見を述べたい。

第五次総合計画後期基本計画の策定作業がスタートする。策定においては、まず地域と地域経済の未来診断に取り組み、現状を把握し、情報共有することを優先すべきである。また、若者や女性の力が引き出せるよう策定環境を整えていただきたい。柏崎市はSDGs日本モデル賛同自治体である。「誰一人取り残されない市民社会の実現」という基本理念を市全体で理解し、指標、ターゲット、ゴールを選定し、全ての施策に落とし込むべきである。



飯塚寿之議員

民友

賛成

3つの意見を付し賛成する。

①人材育成・確保について、経営者だけでなく労働者の支援強化により「働く人を応援するまち・柏崎」をアピールし、地域の活力を担う人材育成につなげてほしい。



佐藤和典議員

②産業振興に関し、地域エネルギー会社設立による「再生可能エネルギーと原子力のまち」(2.5)実現と、観光産業での地域内連携を期待する。

③行財政改革の推進により、市民の自助・共助を高め、限られた行政サービスを有効に活用して、市民一人一人が生きる力を育むまちづくりを進めることを願う。

代表質問で問う

【市長の施政方針と令和2(2020)年度予算】

代表質問は、市長の施政方針や令和2(2020)年度の市政執行の全般的なことについて、会派の代表者が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。

なお、代表質問の詳細については、市議会ホームページでご確認ください。

代表質問の映像は
こちら



代表質問の全項目は
こちら



日本共産党柏崎市議員団



持田繁義議員

- ① 令和2(2020)年度当初予算編成の基本的な観点について
- ② 使用済核燃料税の経年累進課税の考え方について
- ③ 業務見直しと市民サービスのあり方について
- ④ 防災・生活・環境と森林環境整備等の連関について

社会クラブ



笠原晴彦議員

- ① 令和2(2020)年度当初予算案について
- ② 原発について
- ③ 柏崎の農業について
- ④ 柏崎地域エネルギー会社実現可能性調査について

公明党



若井恵子議員

- ① 新年度予算編成について
- ② 地域共生社会の実現・持続可能なまちづくりを目指して
- ③ 命を守るための防災対策について
- ④ 少子化対策・子育て支援について

ほか

柏崎のみらい



佐藤正典議員

- ① 令和2(2020)年度施政方針及び当初予算案に関連して
- ② 原発における使用済核燃料税の経年累進課税化について

柏崎の風



柄沢 均議員



阿部 基議員

- ① 令和2(2020)年度予算の重点戦略
- ② エネルギーと産業について
- ③ 減災と保全について
- ④ 櫻井市政について

民友



近藤由香里議員

- ① 産業競争力の強化を図るためには
- ② 地域の活力を担う人材の育成
- ③ 観光における地域連携体制の整備
- ④ 柏崎に愛着を深め、誇りを持つ子供

ほか

柏盛クラブ



重野正毅議員

- ① 柏崎の存在価値
- ② 持続可能な柏崎のための人材育成・確保
- ③ 堅実な行政経営と持続可能な財政基盤の確立を図るため
- ④ 柏崎市教育大綱

自治研究会



布施 学議員

- ① 櫻井市長の令和2(2020)年度の市政に対する考え方について
- ② 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
- ③ 産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
- ④ 市長の目指す柏崎について

ほか



こんなことが 決まりました

2月定例会議 議案審議(新年度予算)

Pick up

1

液体ミルクの備蓄を始めます

◎災害時備蓄品管理事業 531万3000円

災害時に速やかに市民に食料品などを供給できるよう、市では計画的に備蓄しています。

令和2(2020)年度からは、災害時に水やお湯がなくても飲める「液体ミルク」についても備蓄することになりました。



Pick up

2

妊産婦の医療費助成内容が拡充されます

◎妊産婦医療費助成事業 1208万2000円

子育て世帯の経済負担を減らすため、助成対象期間と助成額が拡充されます。

- ・受給者証の交付を受けた当日から、受給の対象になります。
- ・医療費の自己負担が、一部負担金だけになります。

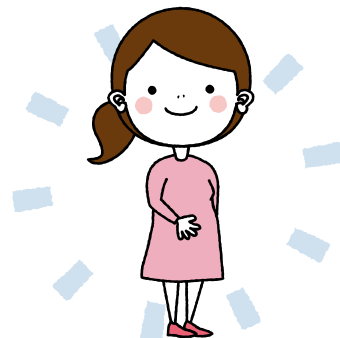
【一部負担金】

外来：1回530円(同じ医療機関で月5回目以降は0円)

入院：1日1,200円

- ・調剤薬局で購入する処方薬は、無料になります。

詳しくはコチラ



Pick up

3

みなとまち海浜公園で バーベキューなどができるようになります

◎海の柏崎PR事業 1369万1000円

夏の観光の充実を図るため、バーベキューやキャンプ、マリンスポーツ、ビーチスポーツなどのアウトドアレジャーを楽しめるエリアをみなとまち海浜公園の沿岸部に新しく整備します。



他に審議された内容はコチラから



総務常任委員会

■委員長 相澤宗一 ■副委員長 春川敏浩
 ■委員 持田繁義・笠原晴彦・布施 学・山本博文・飯塚寿之
 若井恵子・上森 茜

令和2(2020)年度予算の審査概要について報告します
 こんなことに注目して審査しました

審査の様子は
 YouTubeへ



審査のポイント

「生活交通」

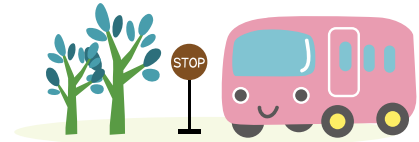
交通弱者対策として、利便性を考慮した交通網が整備されているか、また、現在の公共交通の確保策のみならず、新しい技術やサービスの可能性に注目して審査しました。

主な対象事業

- ・路線バス等確保事業（1億5474万2000円）
- ・バス車両購入補助事業（422万6000円）

主な質疑

- Q 路線バス等確保事業の事業内容は。
- A 高齢者割引制度や路線バス等の運行のための各種補助金、また、新たな公共交通計画においては立地適正化計画と一体的な計画となるよう連携を図り策定作業に着手する。
- Q 免許証返納後の対策は。
- A 市役所全体の検討課題として新しい施策を考えていく必要があると認識している。



文教厚生常任委員会

■委員長 柄沢 均 ■副委員長 重野正毅
 ■委員 樋口良子・秋間一英・田邊優香・近藤由香里・佐藤正典・星野正仁

令和2(2020)年度予算の審査概要について報告します
 こんなことに注目して審査しました

審査の様子は
 YouTubeへ



審査のポイント

「人材確保・人材育成」

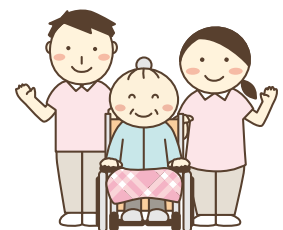
福祉・介護・医療分野の人材の確保や人材を育成するための予算が確保されているか、事業内容（配置・定着・周知方法）が適切か、などに注目して審査しました。

主な対象事業

- ・福祉職員支援事業（121万円）
- ・介護従事者等人材確保・育成事業（6674万円）
- ・医療従事者確保事業（2342万5000円）
- ・医療従事者育成事業（318万6000円）

主な質疑

- Q 福祉職員就職支援事業補助金100万円を計上した背景は。
- A 市内3カ所ある障がい福祉入所施設の職員不足に対応するため、夜勤が可能な方へ補助金を支給することとした。
- Q 介護職員就職支援事業補助金や看護師就職支援助成金が増額された理由は。
- A 病院に勤務する介護職員や、介護施設に勤務する看護師にも適用範囲を広げたためである。



産業建設常任委員会

■委員長 三宮直人 ■副委員長 阿部 基
 ■委員 星野幸彦・白川正志・村田幸多朗・荒城彦一・佐藤和典・齋木裕司

令和2(2020)年度予算の審査概要について報告します
 こんなことに注目して審査しました

審査の様子は
 YouTubeへ



審査のポイント

「人材の確保・育成、産業振興」

農林水産業および企業の人材確保・育成
 に対して、また、地域経済発展のために、
 重点的に予算が配分されているか、などに
 注目して審査しました。

主な対象事業

- ・雇用促進事業 (2534万2000円)
- ・鳥獣被害対策事業 (143万1000円)
- ・新規就農者支援事業 (531万1000円)
- ・中心市街地活性化推進費 (1069万8000円)

主な質疑

- Q 鳥獣被害に対し市民の切実な思いに応える
 戦略的な対策を考えているのか。
- A 電気柵の延長や近隣市町村
 との連携、高度な情報技術
 の活用も図りながら、担い
 手確保を猟友会に働き掛け
 ている。
- Q 柏崎らしさが突き抜ける立地適正化計画と
 なるのか。
- A 柏崎特有の課題分析、中心市街地と周辺地
 域を横串でつなげることを検討し、柏崎独
 自の計画を作成していく。



私たちは



賛成 × 反対 しました

議員賛否一覧 (2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など)

議決日	議案	三宮直人	重野正毅	樋口良子	持田繁義	星野幸彦	秋間一英	田邊優香	白川正志	笠原晴彦	村田幸多朗	布施学	近藤由香里	山本博文	阿部基	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	真貝維義	春川敏浩	柄沢均	上森茜	星野正仁	齋木裕司
3月23日	令和2(2020)年度一般会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
3月23日	令和2(2020)年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
3月23日	基礎年金額等の改善を求める意見書(案)	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×
3月23日	基礎年金等の毎月支給を求める意見書(案)	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×

○は賛成 ×は反対 真貝維義議長は採決に加わりません。



詳しい内容はコチラから